

職員目安箱に寄せられた主な意見・課題(令和2年度)

資料 6

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
1	<p>TAIMS 端末における標準ブラウザ (Internet Explorer) は、ツイッター等表示できないサイトもある。都の事業をツイッターでも広報しているため、「Google Chrome」や、「Microsoft Edge」等へ変更可能にすべき 【政策企画局、戦略政策情報推進本部】</p>	<p>○ 令和3年1月27日から「Google Chrome」をTAIMS 端末の標準ブラウザに追加。また、インターネット環境の改善については引き続き、都政の構造改革の中でバーチャル都庁の取組を推進。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の支払事務の審査には、請求書等の書類が必要だが、電子化を進め、財務会計システムのみで事務処理が完結できるよう検討すべき ・ BPR の概念を導入し、業務における無駄な手続きや手順をなくすべき <p>【政策企画局、総務局、財務局、会計管理局、戦略政策情報推進本部】</p>	<p>○ 契約・支出事務をはじめとした内部管理事務については、都政の構造改革コアプロジェクトの一つである「内部管理事務抜本見直しプロジェクト」において、関連事務のデータ連携や業務ワークフローの連携に向けた機能構築を進めていく。</p>

職員目安箱に寄せられた主な意見・課題(令和2年度)

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
3	<p>新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者への支援の充実</p> <p>【福祉保健局】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症患者の受入れなど、都から役割を設定された医療機関等に勤務し患者と接する医療従事者等に対し、慰労金を支給した。 ○ 引き続き医療従事者に対する特殊勤務手当の支給を行うなど、今後も感染状況に応じて支援していく。
4	<p>新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、保健所全体の業務の抜本的なBCPを作成・調整すべき</p> <p>【福祉保健局】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症に対する保健所の取組を検証し、保健所の機能が効果的・効率的に発揮されるよう、次のような取組を行い対応策（保健所版 BCP）を取りまとめていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所における各部署の体制・役割分担・その他の手順等について、有事の際の標準的なパターンを作成する。 ・ その際、現在取り組んでいる保健所の DX 化を踏まえるとともに、人材派遣等外部人材の活用や業務の委託化などのアウトソーシングも対応策に取り込んでいく。

職員目安箱に寄せられた主な意見・課題(令和2年度)

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
5	<p>都が設置する保健所における人員・体制整備の更なる強化</p> <p>【福祉保健局】</p>	<p>○ 保健所の業務負担軽減のため、これまで次のような業務の委託化等や人材の確保に取り組んでおり、今後も感染状況等を踏まえ対応していく。</p> <p>[業務の委託化等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話相談窓口の委託化 ・ PCR 検査にかかる業務の一部委託化 ・ 陽性者等の搬送業務の委託化 等 <p>[人材の確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都職員（事務）の派遣 ・ 人材派遣や都 OB 職員（保健師、看護師）の活用 等
6	<p>庁内で使用しているインターネットの通信速度を改善</p> <p>【政策企画局、戦略政策情報推進本部】</p>	<p>○ 都政の構造改革の中でバーチャル都庁の取組を推進中（令和3年1月にネットワーク環境強化を実施）。</p>

職員目安箱に寄せられた主な意見・課題(令和2年度)

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
7	<p>オフピーク通勤に対応するため、都庁舎正面玄関の開放時刻を早めるべき 【総務局】</p>	<p>○ オフピーク通勤の実施による午前7時台の職員の登庁実態に対応するため、午前7時半から午前8時までの間、第一本庁舎及び第二本庁舎の1階正面玄関非常口を職員通用口として開放した。</p>
8	<p>復職後も母乳育児を続けているが、昼休みに搾乳をする場所がトイレしかない。都庁舎内にある来庁者用の授乳室を搾乳のために利用したいが、子連れでないと入室しにくいいため、「搾乳での利用もできる」と表示してほしい。 【財務局】</p>	<p>○ 都民広場地下1階に設置している授乳用施設「赤ちゃん・ふらっと」の入室扉に、搾乳にも利用できる旨の掲示を7月中旬に行った。</p>